学校番号	3037

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新詳地理探究」（帝国書院）・「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編地理資料 2025」（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校地理では，「地」球上でみられるあらゆる事象の「理（ことわり）」を学びます。地形や気候，農林水産業，鉱工業，人口，都市，民族，生活文化にいたるまで，高校地理で扱う分野は広範にわたりますが，それぞれの分野における様々な事象には必ず「なぜそうなるのか」という理由が存在しています。普段から地理的な見方で社会を眺めることを意識し，講義や実習を通じて地理的な考え方を修得することによって，世の中を深く洞察する力が身に付きます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

地理に関する基礎的な知識を体系的に習得し、地図や統計資料を適切に活用して地域特性や地理的現象を的確に理解できる能力を身につける。また、地域間の相互関係や環境変化の実態について、具体的な事例に基づいて分析し、説明できる力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

生徒は、地理的課題に対して論理的かつ多角的に思考し、与えられた資料を分析して自らの見解を導き出す判断力を養う。さらに、その結論を明確かつ論理的に表現し、学問的な議論を通じて他者との意見交換を行う能力を養成する。

【学びに向かう力、人間性等】

地理学を通じて持続可能な社会の実現や地球環境保護に関する意識を深め、自発的かつ継続的に学びを追求する態度を育む。また、地域や文化の多様性を尊重し、社会的な課題に対する関心を高め、他者との協働を通じて社会貢献への意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで，現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。 ○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで，現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。	○地理的事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的･多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに，社会へ参画することへの意識が高まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自然環境	1 地形 2 気候 3 日本の自然環境 4 地球環境問題	a:地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート
	資源と産業	1 農林水産業 2 食料問題 3 エネルギー･鉱産資源 4 資源･エネルギー問題 5 工業 6 第 3 次産業	a:資源･エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:資源･エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート

2学期	交通・通信と観光、貿易	1 交通･通信 2 観光 3 貿易と経済圏	a:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート
	人口，村落・都市	1 人口 2 人口問題 3 村落と都市 4 都市･居住問題	a:人口，都市･村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住･都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:人口，都市･村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:人口，村落･都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート

2学期	生活文化，民族・宗教	1 衣食住 2 民族・宗教と民族問題 3 国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題	a:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート
	現代世界の地域区分	1 地域区分	a:世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに，世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念，地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について，各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。 b:世界や世界の諸地域の地域区分について，地域の共通点や差異，分布などに着目して，主題を設定し，地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代世界の地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート

2学期	現代世界の諸地域	1 中国 -項目ごとに整理して考察 2 韓国 -項目ごとに整理して考察 3ASEAN 諸国-項目ごとに整理して考察 4 インド-経済成長に関連づけて考察 5 西アジアと中央アジア-地域を比較して考察 6 北アフリカとサハラ以南アフリカ-地域を比較して考察 7 EU 諸国-項目ごとに整理して考察 8 ロシア -国家体制の変化に関連づけて考察 9 アメリカ合衆国-項目ごとに整理して考察 10 ラテンアメリカ－歴史的背景と関連づけて考察 11 オーストラリア・ニュージーランド-国を比較して考察	a:世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに，世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念，地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について，各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。 b:世界や世界の諸地域の地域区分について，地域の共通点や差異，分布などに着目して，主題を設定し，地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代世界の地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート
3学期	現代世界におけるこれからの日本の国土像	1 将来の国土の在り方 2 持続可能な日本の国土像の探究	a:現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解している。 b:現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現している。 c:持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度